

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つける
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



車載用認識システムPrism AIモデル発売

検出/追跡ソフトウェアモデルPrism AIが機能強化 赤外線画像を組み込んだ車載用認識システムが可能に

進化するPrism AI 人身事故撲滅に貢献

Teledyne FLIRは、組み込みシステムの開発を容易化できるコンパクトなAIモデルを備えた新しいPrism™AIを発売した。新モデルは、Teledyne FLIRの検出/追跡ソフトウェアモデルPrism AIをさらに機能強化したもので、赤外線画像を組み込んだ車載用認識システムを可能にする。これにより、先進運転支援システム(ADAS)や自動運転(AD)システムへ赤外線カメラを迅速に統合できるほか、従来のPrism AIより最大24%物体追跡性能が向上する。

赤外線カメラ搭載ADAS AVの迅速なテストに最適

同社によれば、「より高機能になったPrism AIソフトウェアモデルは、組み込みシステムのテストや開発を可能にし、認識技術エンジニアが熱画像処理能力を備えたより効果的なシステムをこれまで以上に簡単に作る事ができる。Teledyne FLIRのAIエコシステム

とツールの拡大は続いており、人命保護のための赤外線カメラ搭載ADASやAVの迅速なテストや開発コストの削減につながる、他社には真似できない手法をインテグレータの皆様にご提供できるようになった」と強調する。

新しいシャドーモード データ一括取込機能

車載用認識システムの開発者に向けて構築したPrism AIは、7カテゴリーの物体検知や可視/赤外線画像のフュージョン機能、最新の赤外線画像処理機能、機能を記録する新しいシャドーモード、データの一括取込機能などを提供する総合的なエコシステムとなっている。これらの機能を兼ね備えることで、車載用赤外線センサの統合を容易にし、特に視認性の低下する夜間において歩行者・動物・車両の優れた検出能力を発揮する。

開発がより簡単に コスト削減に貢献

開発者は、Prism AIをメインの認識ソフトウェアとして、また社内開発の



際と比較用ソフトウェアとしても利用できる。一連のPrism AIツールがTeledyne FLIR Conservator™データライフサイクル管理ソフトウェアのほか、業界最大の赤外線/可視画像トレーニング用データセットとの容易なデータ統合機能を提供する。

さらにPrism AIには、赤外線カメラと電子制御ユニットの間の認証など生産に必要な機能も含まれており、開発がより簡単に行える。

Teledyne FLIRの技術サービス部門は専門的なサポートを提供しており、研究分野から自動車OEMメーカーまで、認識技術を扱うエンジニアは赤外

線カメラ搭載ADASおよびAVシステム構築のための完全なエコシステムが利用できる。

夜間の衝突事故防止 人身事故撲滅に貢献

歩行者の死亡事故数を減らすためには、いかなる状況下でも自動車の認知機能を向上させることが不可欠となる。米国州知事幹線道路安全協会の1次データによると、2021年前半の歩行者死亡事故が前年に比べて17%増加し、2011年に比較し46%と大幅に増えている。

赤外線画像によってADASやAVの能力が高まることは、こうした歩行者の死亡事故数を減らすうえで重要な役割を果たす。歩行者に対する夜間の正面衝突防止を含めた将来の試験方法の規制に自動車OEMメーカーが対応していくうえでも大きく貢献する。

Teledyne FLIRのPrism AIソフトウェアは、世界中のTeledyne FLIRで購入できる。

Teledyne FLIR及びTeledyne FLIRのPrism AIソフトウェアに関する詳細は、下記アドレスより参照。

(※資料提供：ユアサ商事)

